

幼児教育学科

科目名: 保育内容(健康)の指導法				担当教員 氏名: 小川 耕平					
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
1	2年次	後期	専門科目	演習	選択必修	保育士資格指定科目(選択) 幼稚園教諭二種免許状科目(必修)			
実務経験を用いてどのよう な授業を行っているか: 幼児教育現場(保育所・幼稚園)などでの、運動指導で気づいた指導のポイントなどを実際の経験をもとに 教授する・また、視覚教材を活用してより実践感覚で理解できるようにする。									
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード			
幼児期の健康づくりに必要な知識と技術を学んだ後、子ども達の運動現場で年齢による 発育発達の違いを学び、個々に応じた健康・体力づくりの指導方法について習得する。						・スキヤモンの発育曲線 ・幼児期の健康づくり			
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)						
			1. 2. 5. 6. 7. 8. 9. 10						
A 知識・理解力			健康づくりのための運動遊びの必要性を考慮した運動指導ができる						
B 専門的技術			スキヤモン発育曲線を考慮した運動遊びの指導や説明ができる						
E 自己管理能力			他者と協力しながら、子どもへの健康づくりの指導ができる						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	40 %	発表:	60 %	実技試験:	%	その他:	%
特記事項:									
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: ・レポート課題									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: レポート用紙返却時にコメントにてフィードバック									
授 業 計 画						準備学習(予習・復習等)			
						学習内容			学習に必要な 時間(分)
① 幼児期におけるからだの発育と発達について						事後: 年齢ごとの発育発達を理解する		30分	
② 幼児期のこころの発達について						事後: こころの発達について理解する		30分	
③ 幼児の生活習慣と体力・運動能力の関係						事後: 幼児の生活習慣について理解する		30分	
④ 幼児期のケガの状況と予防策と応急処置について						事後: 応急処置法について理解する		30分	
⑤ 幼児期の健康・体力を知る① 現在の幼児の状況について						事後: 現在の幼児の体力を理解する		30分	
⑥ 幼児期の健康・体力を知る② 各種の測定方法について(視覚教材による確認)						事後: 測定項目を理解する		30分	
⑦ 幼児期の健康・体力を知る③ 各種測定方法の実践						事後: 測定方法を理解する		30分	
⑧ 幼児期の健康・体力づくりのための運動について① 理論編(視覚教材による確認)						事後: 健康・体力づくりの運動を理解する		30分	
⑨ 幼児期の健康・体力づくりのための運動について② 実践・指導編						事後: 健康・体力づくりの運動を実践する		30分	
⑩ 幼児期の健康・体力づくりのための運動遊びを考える① サッカーイベント参加						事後: 幼児の運動遊びを理解する		30分	
⑪ 幼児の健康・体力づくりのための運動遊びを考える② サッカーイベント参加						事後: 幼児の運動遊びを理解する		30分	
⑫ 幼児の健康・体力づくりのための運動遊びを考える③ サッカーイベント参加						事後: 幼児の運動遊びを理解する		30分	
⑬ 幼児の健康・体力づくりのための環境見学① 富山県こどもみらい館						事後: 遊び環境を理解する		30分	
⑭ 幼児の健康・体力づくりのための環境見学② 富山県こどもみらい館						事後: 遊び環境を理解する		30分	
⑮ 幼児期の健康・体力づくりについてのまとめと学期への準備						事後: これまでの内容をまとめる		30分	
使用テキスト: 特になし。適宜資料を配布します						その他参考文献など: 幼児のからだとこころを育てる運動遊び(杏林書院)			
受講上の留意点(担当者からのメッセージ):									